

「えな RUN 伴+ (PLUS) 2016 参加報告」

RUN 伴は 2011 年から開催されている「認知症を自分のごととしてとらえ、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して、認知症の人もそうでない人も、みんなでタスキをつなぐランニングイベント」です。2011 年から開催されており、今年は北海道から沖縄までタスキがつながられています。このイベントは恵那市を中心とした地域で 2014 年から開催されており、東濃支部では支部活動の一つとして参加しています。昨年までは恵那市を中心として開催されてきましたが、今年は土岐市、瑞浪市でも独自の開催があり、RUN 伴は東濃地域では広がりを見せています。参加者は「えな RUN 伴」としては昨年は 741 人でした。今年は「えな RUN 伴」では 617 人と参加者は減少しましたが、独自開催した瑞浪市、土岐市を合わせると東濃地域で 1000 人近い参加者があり、全体としては増加しました。

県士会東濃支部ではこのイベントに 2014 年から参加し、今年も 10 月 30 日に開催された『えな RUN 伴+ (PLUS) 2016』に参加しました。また、昨年に引き続きえな RUN 伴のイベントにおいて認知症予防運動であるコグニサイズを紹介することも行いました。県士会チームとしてランニングに参加し、コグニサイズを紹介をさせてもらうことで医療関係者のみでなく、介護・福祉関係者の方にも理学療法士を知ってもらう良いきっかけとなったと思います。

認知症はリハビリ職種が必ずと遭遇する疾患と思います。また、認知症はオレンジプランとして国の施策の一つとなっています。その認知症の課題を認知症の当事者や家族、支援者だけでなく、行政や一般住民の皆さんと同じタスキをつなぐ体験を通じて、認知症の人が暮らしやすい地域について考えることができる良い機会と思います。私たち理学療法士もその一役を担うことができればと考えます。東濃支部の会員のみでなく、他の県士会会員も興味があれば来年の参加お待ちしております。



文責：岡山好男（市立恵那病院）